

(6) マスメディアでの紹介

ア. 新聞記事

- ・ 向殿政男, “製品安全に関するリスクコミュニケーション, パネルモデレータ, セキュリティ”, 産業新聞, 2011 年 3 月 25 日
- ・ 唐木英明, 向殿政男, 木村昌平, 野村裕, 白石真澄, “安心社会は正しい情報の理解と共有から”(パネルディスカッション), 日本経済新聞(広告), 2011 年 1 月 24 日
- ・ 安西祐一郎, 納谷廣美, 向殿政男, “日本らしさを示す, ものづくり技術とは”(鼎談), 日本経済新聞社(広告), 2011 年 1 月 17 日
- ・ 向殿政男, “再発防止への背景説明を”(インタビュー記事), 毎日新聞, 2010 年 12 月 27 日
- ・ 向殿政男, “安全学 やさしく紹介”, 読売新聞 田園都市(横浜), p.29, 2010 年 10 月 10 日
- ・ 向殿政男, “事故防ぐ「安全学」解説”, 読売新聞, 神奈川版, 2010 年 9 月 8 日
- ・ 向殿政男, 寺岡豊彦, “企業と消費者が協力し安全を形づくる, NIKKEI 安全づくりプロジェクト”, 日本経済新聞, 2010 年 6 月 17 日
- ・ 向殿政男, “コンピュータで安全を実現”, Data communications, No.1080, 電波新聞, 2010 年 4 月 15 日
- ・ 刈屋武昭, “金融機関のリスク管理の課題—新たな評価手法の確立を”, 日本経済新聞, 2010 年 10 月 6 日
- ・ 小林 亮, “ビバ・キャンパス イグ・ノーベル賞 粘菌の研究で栄誉”, 中国新聞, 2010 年 10 月 17 日
- ・ 小林 亮, “粘菌またイグ・ノーベル賞”, 朝日新聞, 2010 年 10 月 1 日
- ・ 小林 亮, “イグ・ノーベル賞 鉄道網に「粘菌の知恵」”, 毎日新聞, 2010 年 10 月 1 日
- ・ 小林 亮, “イグ・ノーベル賞2度目 粘菌の動きで交通網整備”, 東京新聞, 2010 年 10 月 1 日
- ・ 西森拓, “複雑な砂丘の動き単純な連立方程式で表現”, 科学新聞, 2010 年 7 月 2 日
- ・ 西森拓, “砂丘の形状示す連立方程式発見”, 日経新聞, 2010 年 6 月 28 日
- ・ 柴田達夫, “細胞の自発運動時に機能, 分子挙動を解明”, 科学新聞, 平成 22 年 6 月 25 日
- ・ 柴田達夫, “酵素が細胞の動き決定”, 日経産業新聞, 平成 22 年 6 月 16 日.
- ・ 杉原厚吉, “球が坂を転がり上がる?, 明治大学, 錯視狙った立体制作”, 日本経済新聞, 2010 年 9 月 27 日

イ. 新聞等コメント

- ・ 向殿政男, “窒息の危険性減らす指標公表:こんにゃくゼリー”, 日本消費経済新聞, 2011 年 1 月 1 日

- ・ 向殿政男，“リコール情報”，読売新聞，2011 年 1 月 28 日
- ・ 向殿政男，“事故原因の究明優先を”，日本経済新聞，2010 年 8 月 21 日
- ・ 向殿政男，“リコール最前線：製品の「寿命」周知進まず”，日本経済新聞，2010 年 5 月 24 日
- ・ 西森拓，“砂丘の風紋美しい”（新聞読者質問コーナーへの回答，執筆は編集部），東京新聞，中日新聞，2010 年 7 月 26 日

ウ. 雑誌記事

- ・ 向殿政男，“科学技術と未来 ～人と技術・システムとの関わりを中心に～”，SCOPE NET, VOL.59, pp.3-7, (財)湾岸空港建設技術サービスセンター，2011 年 3 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」最終回：安全と安心”，プラントエンジニア 第 43 巻，第 3 号，通巻 505 号，pp.66-67，日本プラントメンテナンス協会，2011 年 2 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第11回：メンテナンスは安全の要”，プラントエンジニア，第 43 巻，第 2 号，通巻 504 号，pp.50-51，日本プラントメンテナンス協会，2011 年 1 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第10回：安全確保のためにコンピュータを使う：機能安全という発想”，プラントエンジニア，第 43 巻，第 1 号 通巻 503 号，pp.76-77，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 12 月
- ・ 向殿政男，“ものづくり安全から安全づくりへ”，IPG 2010 Vol.25 No.12, pp.16, (株)コスモブレインズ，2010 年 11 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第9回：フェールセーフ技術：ハイボールの原理に学ぶ～”，プラントエンジニア，第 42 巻，第 12 号 通巻 502 号，pp.72-73，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 11 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第8回：本質的安全設計：安全設計のスタートはここから”，プラントエンジニア，第 42 巻，第 11 号 通巻 501 号，pp.80-81，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 10 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第7回：スリーステップメソッド：安全方策の順番”，プラントエンジニア，第 42 巻，第 10 号 通巻 500 号，pp.66-67，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 9 月
- ・ 向殿政男，“製品の『安全』は，企業と生活者がともに考え，納得して決めるもの，どうして？なるほど！通信” Vol.10, p.11, (株)新建新聞社「くらし・住設・まちづくり研究所」，(有)ラ・プラス，2010 年 9 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第6回：リスクアセスメントという発想”，プラントエンジニアリング，Vol.42, No.9, pp.48-49，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 9 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第5回：信頼性と安全性の関係”，プラントエンジニアリング，Vol.42, No.8, pp.62-63，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 8 月
- ・ 向殿政男，“ためになる「安全学」第4回：どこまでやったら安全か”，プラントエンジニアリング，Vol.42, No.7, pp.42-43，日本プラントメンテナンス協会，2010 年 7 月
- ・ 向殿政男，“安全・危機管理と大学，シンポジウム 大学における危機管理体制の現状と問題点”，明大専教連会報 第 99 号 通巻 189 号，pp.8-21 pp.34-47，明治大学専任教授連合会，2010

年 7 月

- ・ 向殿政男, “安全は競争力の源泉である”, リスクマネジメント TODAY, Vol.13, No.3, pp.17-19, リスクマネジメント協会, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “情報化社会の脆弱性”, Newton 別冊 地域別・震源, 規模, 被害予測 巨大地震, pp.102-103, ニュートン プレス, 2010 年 6 月
- ・ 向殿政男, “リスクアセスメントのすすめ”, 人事院月報, No.730, pp.12-13, 人事院, 2010 年 6 月
- ・ 向殿政男, “ためになる「安全学」第3回:安全の見える化”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.6, pp.58-59, 日本プラントメンテナンス協会, 2010 年 6 月
- ・ 向殿政男, “ためになる「安全学」第2回:「機械は壊れるもの」であり,「人間は間違えるもの」である”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.5, pp.60-61, 日本プラントメンテナンス協会, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “ためになる「安全学」第 1 回:「安全学」への道程”, プラントエンジニアリング, Vol.42, No.4, pp.60-61, 日本プラントメンテナンス協会, 2010 年 4 月
- ・ 向殿政男, “安全の「共通化」はじつくりと”, 日経ものづくり, 第 667 号, pp.4-6, 日経 BP 社, 2010 年 4 月
- ・ 刈屋武昭, “リスクの時代を生き抜く知恵”, 東洋経済, 2010 年 4 月 10 日号
- ・ 杉原厚吉, “投影逆変換と立体錯視”, 数学セミナー 特集「錯覚の数理」, pp. 24-27, 2011 年 3 月号
- ・ 新井仁之, 北岡明佳, 山口泰, 杉原厚吉, “座談会「錯覚研究において数理的アプローチに期待すること」”, 数学セミナー 特集「錯覚の数理」, pp. 8-16, 2011 年 3 月号
- ・ 杉原厚吉, 「週刊文春」2011 年 1 月 20 日号の写真ページで不可能立体が紹介された。文芸春秋社
- ・ Deok-Soo Kim , Youngsong Cho and Kokichi Sugihara , “Quasi-worlds and Quasi-operators on Quasi-triangulations”, Computer-Aided Design , vol. 42 , pp. 874--888, 2010 年 10 月
- ・ D.-S. Kim, Y. Cho, K. Sugihara, J. Ryu, and D. Kim, “Three-dimensional beta-shapes and beta-complexes via quasi-triangulation”, Computer-Aided Design, vol. 42, pp. 911--929, 2010 年 10 月
- ・ 杉原厚吉, “知を磨く者3 不可能立体を究める杉原厚吉”, 発明協会発行「発明」にインタビュー記事が掲載された。pp. 20-23, 2010 年 10 月号
- ・ 杉原厚吉, 「子供の科学」7 月号, コカトピで錯覚コンテスト 1 位入賞の記事とインタビュー, 2010 年 7 月号
- ・ 杉原厚吉, “数学が使える楽しさ”, aperitif, 数学セミナー, 2010 年 4 月号, pp.1
- ・ 占部千由, “物理屋の眼で現象の骨組みを取り出す”, 明治大学グローバル COE プログラム「現象数理学の形成と発展」若手研究者インタビュー, News Letter Vol.4, 2010 年 4 月
- ・ 友枝明保, “第 15 回交通流のシミュレーションシンポジウム報告”, 日本応用数理学会編集学会

誌「応用数理」, Vol.20, No.2, pp.86-87, 2010 年 6 月

- ・ 若狭徹, “非線形現象を数理の目で解明したい”, 明治大学 GCOE ニュースレター研究者インタビュー, Vol. 7, 2011 年 1 月
- ・ Siew Hai Yen, “点過程モデルによる新しい推定法を考案”, 明治大学 GCOE ニュースレター研究者インタビュー, Volume 7, 2011 年 1 月

エ. テレビ

- ・ 小林 亮, “Home J ステーション”, 広島ホームテレビ, 2010 年 12 月 1 日
- ・ 小林 亮, “TSS スーパーニュース”, TV 新広島, 2010 年 11 月 23 日
- ・ 向殿政男, “世界一受けたい授業”, 日本テレビ, 2010 年 7 月 31 日
- ・ 草野完也, “不可思議探偵団”, 禁断エリア 潜入 2 時間 SP 地磁気反転と太陽フレアの地球環境影響に関して解説, 日本テレビ, 2010 年 10 月 11 日
- ・ 杉原厚吉, “SmaSTATION!”, トリックアート特集で, 不可能モーションが紹介, テレビ朝日, 2011 年 1 月 10 日
- ・ 杉原厚吉, “奇跡体験アンビリバボー”, 心理トリック, 錯覚マジックの解説を監修, 2010 年 12 月 9 日
- ・ 杉原厚吉, “世界一受けたい授業”, 錯覚の利用, 錯覚エンターテイメントなどの講義, 日本テレビ, 2010 年 7 月 31 日
- ・ 杉原厚吉, “世界を変える100人の日本人 スペシャル”, 不可能モーションの紹介・解説, テレビ東京, 2010 年 7 月 30 日
- ・ 杉原厚吉, “さきっちよ”, 不可能モーションの紹介, インタビュー, テレビ朝日, 2010 年 7 月 13 日
- ・ 杉原厚吉, “MAG・ねっと”, 何でも吸引四方向滑り台が紹介, NHK BS-2, 2010 年 5 月 30 日
- ・ 杉原厚吉, “El Hormiguero (スペインのテレビ番組。司会 Andres Palop)”, 大型の「なんでも吸引四方向滑り台」が紹介, 2010 年 5 月 24 日
- ・ 杉原厚吉, “野次馬サタデー”, 何でも吸引四方向すべり台が錯覚コンテスト優勝作品として紹介される, テレビ朝日, 2010 年 5 月 15 日
- ・ 友枝明保, “知りたがり”, 渋滞形成メカニズムと渋滞緩和策, フジテレビ, 2010 年 5 月 4 日

(7) 研究集会の主催

- ・ 荒川薫, The 2010 International Symposium on Communications and Information Technologies (ISCIT2010), 明治大学, 2010 年 10 月 26 日～29 日
- ・ 三村昌泰他 (Co-chairs), 池田幸太, 上山大信, 杉原厚吉, 砂田利一, 中村和幸, 二宮広和, 向殿政男, 若野友一郎他 (実行委員), 日本応用数理学会 20 周年記念行事实行委員会, 明治大学, 2010 年 9 月 7 日, 9 日
- ・ 砂田利一, Brusell における ERC (ヨーロッパ科学評議会) 審査委員, 2010 年 9 月 7 日-9 日
- ・ 砂田利一, 「Analysis on graphs and its applications」ワークショップ組織委員, ケンブリッジ大学ニュートン研究所, 2010 年 7 月 24 日-8 月 1 日

- ・ 池田幸太, 第 4 回現象数理若手シンポジウム「パターン・ウェーブ」, 明治大学, 2010 年 4 月 23 日, 24 日
- ・ 中橋 渉, 第 5 回現象数理若手シンポジウム「人類進化への数理的アプローチ」, 明治大学, 2010 年 6 月 29 日, 30 日
- ・ 堀内史朗, 第 6 回現象数理若手シンポジウム「現象数理学と数理社会学の対話」, 明治大学, 2010 年 7 月 27 日, 28 日
- ・ 若狭徹, 第 7 回現象数理若手シンポジウム「細胞・腫瘍の数理」, 明治大学, 2010 年 11 月 6 日, 7 日
- ・ 野津裕史, 第 8 回現象数理若手シンポジウム「航空機の数理 –流体モデルと数値解析–」, 明治大学, 2011 年 1 月 12, 13 日
- ・ 友枝明保, 第 9 回現象数理若手シンポジウム「セルオートマトンは現象数理学の武器となりうるか?」, 明治大学, 2011 年 2 月 22 日, 23 日
- ・ 野津裕史, 「ロバスト幾何計算アルゴリズム」講演会, 明治大学, 2010 年 12 月 27 日
- ・ 野津裕史, 現象数理若手プロジェクト「反応拡散系の自己組織化機構を利用したメッシュ生成手法の開発」, 明治大学, 2010 年 10 月 16 日
- ・ 藤間真, 祖建, 第1回現象数理若手ミニシンポジウム「進化による安定共存と反応拡散系の形態形成」, 明治大学, 2010 年 8 月 20 日
- ・ 且高徹司, 第 2 回現象数理若手ミニシンポジウム「マーケティングと現象数理学」, 明治大学, 2010 年 10 月 8 日
- ・ 吉川満, 第 3 回現象数理若手ミニシンポジウム「ファイナンスと現象数理学」, 明治大学, 2010 年 11 月 22 日

(8) その他

- ・ 新屋啓文, 栗津暁紀, 西森拓, JPSJ, Papers of Editors Choice に, 論文 “3Dimensional Dune Skeleton Model as a Coupled Dynamical System of 2D Cross-Sections”, J. Phys. Soc.Jpn. (2010)が選ばれた。
- ・ 柴田達夫, Virtual Journal of Biological Physics Research (物理系研究者に生物関連論文を紹介)に原著論文が選ばれた。
原著論文: “Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ 柴田達夫, Faculty of 1000 Biology に原著論文が選ばれた。
原著論文: “Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ 柴田達夫, Nature Chemical Biology, Research Highlights に原著論文が紹介された。
“Migration in cue-less cells”, Vol. 6, pp.564, August, 2010 年 8 月
原著論文: “Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”

- ・ 柴田達夫, Science Signaling, EDITORS' CHOICE に原著論文が紹介された。“Organized Randomness”, Vol. 3, Issue 130, pp. ec210, 2010 年 7 月 13 日
原著論文:”Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ 柴田達夫, JST, 大阪大学及び広島大学共同で, 原著論文のプレス発表を行なった。2010 年 6 月 15 日
原著論文:”Self-organization of the phosphatidylinositol lipids signaling system for random cell migration”
- ・ 草野完也, 名古屋大学オープンカレッジ講師「母なる星太陽の不思議な素顔」, 2010 年 12 月 4 日
- ・ 草野完也, (独)海洋研究開発機構横浜研究所一般公開サイエンスカフェ講師「宇宙と地球環境の不思議な関係」, 2010 年 11 月 27 日
- ・ 草野完也, 名古屋大学太陽地球環境研究所 20 周年一般講演会講師 「太陽の謎 ガリレオから未来へ」, 2010 年 11 月 13 日
- ・ 草野完也, 北海道陸別町銀河の森天文台「太陽・オーロラウィーク」講師, 2010 年 11 月 28 日
- ・ 草野完也, 太陽研究最前線体験ツアー企画・講師, 2010 年 8 月 17 日
- ・ 杉原厚吉, 名古屋市科学館 (リニューアルオープン) にて, 不可能立体3種類の常設展示, 2011 年3月 9 日
- ・ 杉原厚吉, “数学で調べるだまし絵 --- 私たちの目はなぜだまされるのでしょうか”, 十文字中学校数学講演会, 2011 年 2 月 23 日
- ・ 杉原厚吉, “数学の力でエッシャーを超えよう”, 福井県立武生高等学校, 2011 年 1 月 24 日
- ・ 杉原厚吉, 出願番号:特願2004-230652 発明名称:勢力圏図作成装置及びプログラム
- ・ 杉原厚吉, 千葉県立現代産業科学館の企画展示「みる！みえる？錯視から探る視覚のしくみ」の開催イベントの一つとして, 工作教室「だまし絵を立体にして, エッシャーを超えよう！」講師, 2010 年 11 月 7 日
- ・ 杉原厚吉, 不可能立体の展示とトーク(15 分トーク合計 10 回), 明治大学明大祭和泉キャンパス, 2010 年 10 月 30 日-11 月 1 日
- ・ K. Sugihara, T. Sato and A. Okabe, “Simple and unbiased kernel density functions for network analysis”, Proceedings of the 10th International Symposium on Communication and Information Technologies (ISICT 2010), Tokyo, pp.827-832, 2010 年 10 月 26 日-29 日
- ・ 杉原厚吉, 千葉県立現代産業科学館の企画展示「みる！みえる？錯視から探る視覚のしくみ」, 「何でも吸引 4 方向すべり台」の立体(大)模型展示, 2010 年 10 月 9 日-11 月 28 日
- ・ K. Sugihara, “Computational Illusion --- How to Design Impossible Solids and Impossible Motions. Invited talk”, Asian Conference on Design and Digital Engineering, Jeju Island, Korea, August 25, 2010 年 8 月 25 日-28 日
- ・ K. Sugihara, “Voronoi-diagram approach to Escher-like tiling”, T Proceedings of the

7th International Symposium on Voronoi Diagrams in Science and Engineering, Quebec, pp.199-204, 2010 年 6 月 28 日-30 日

- ・ 杉原厚吉, “Hall of Illusions”, exhibit for the Glasgow Science Festival of the University of Glasgow, 20th May to 14th June, 2010, Organized by Dr. Rob Jenkins, Department of Psychology, University of Glasgow, 2010 年 5 月 20 日-6 月 14 日
- ・ 友枝明保, 明治大学生田図書館ギャラリーゼロによる渋滞研究, 錯覚研究の展示「ようこそ！現象数理学の世界へー生物の模様から人の社会活動までー」, 2010 年 11 月 16 日-29 日
- ・ 友枝明保, 千葉県立現代産業科学館の企画展示「みる！みえる？錯視から探る視覚のしくみ」, 「錯視模型」の展示 2010 年 10 月 9 日-11 月 28 日
- ・ 友枝明保, 新都市ホール(そごう横浜店)「かながわ発, 中高生のためのサイエンスフェア」での渋滞学ポスターブース出展, 2010 年 7 月 17 日
- ・ 中橋 渉, 自修館中等教育学校の中学生課外活動における講演, 2010 年 6 月
- ・ 飯坂達也, 電気学会「再生可能エネルギー出力予測技術調査専門委員会」委員